

かべ新聞

第63号

2013年
8月13日

J R 東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

改善要求・第三弾！ 仕業・修繕車両所編！

職場環境改善とあわせて労働強化につながる効率化を許さない闘いも重要です！

他にも要望・要求がありましたらドシドシ報告下さい！

1. 仕業車両所

- ①健康・安全・ゆとり面からも3連続夜勤勤務を解消されたい。
- ②第一申告と第二申告では、本数が違いすぎる。均衡化するか、第二申告の出面を増やされたい。仕業検査車両所は、昼間の申告編成で第一検修庫と第二検修庫の本数の差を解消すること、第二検修庫の要員を増やす事。
- ③庫1・2番線間のピットでの自転車利用を可能としてもらいたい。
- ④年休についてダイ改後、年休を申し込むと全て年休になっている。
昨年までは、年休を申し込んでも時季変更で休みが入らないことが多々あり、それにも増して病気の人代わりに勤務変更に応じたり協力してきた。
また、勤務発表後は冠婚葬祭以外年休申し込みを認めず勤務変更も認めないとか？！今まで協力してきた社員に対して恩を仇で返すそんなことが許されているのでしょうか！

2. 修繕車両所（構内操縦）

- ①基本的に（交検・修繕・帯泊車両等は除く）庫内の車両には手歯止めは使用しないこととされたい。
- ②操縦担当者の勤務指定により、入換え本数が大きく違う。
従って、『入1, 2, 3』と『入1 1, 1 2, 1 3』の入替え本数を均衡化すること。
- ③操縦者の動作をビデオ撮影し、それを利用しての教育が行われているが、安全面や肖像権からも直ちに中止すること。
- ④安全チョッキを勤務の点呼後にその都度受け取っているが、個人貸与とされたい。
また、雨具（合羽・長靴など）も同様に個人貸与とされたい。
- ⑤着発線での待機場所を設置されたい。
- ⑥庫内での標識灯がハイビームだと、入庫時の入換では眩しさがあり、前方確認が出来ないので危険である。従って、庫内留置の車両は、標識灯はロービームを基本とされたい。

労働強化によるヒューマンエラー！？ それに伴っての復帰教育。その後は「命令と服従」「規律と忠誠心」の負のスパイラルに陥らないように、声を出して問題点を訴えていこうではないですか！